

令和3年10月  
令和8年5月改定

## 南知多町立中学校再編実施計画

南 知 多 町  
南知多町教育委員会

### 1 はじめに

本町では、令和3年10月に策定した「南知多町立中学校再編実施計画」に基づき、実施計画の骨子である「統合の時期と場所」、「統合対象校」の第1段階において令和5年4月に、内海中、豊浜中、師崎中、日間賀中を統合し、旧内海中の校舎を活用して南知多中学校を開校しました。

当初計画では、第2段階として旧豊浜中用地に新校舎を建設し、令和10年4月の開校を目指していました。しかしながら、地質調査により法面補強工事に多大な費用が必要となり、あわせて物価高騰に伴う建設費等の上昇により、工程と予算の両面で令和10年度開校が困難な状況となりました。

このため、令和6年7月に計画の見直しを判断し、令和7年度に旧豊浜中用地のほか、総合体育館周辺、旧新運動公園の建設候補地3箇所において、建設に向けた比較検討調査を実施するとともに、令和15年4月の開校を目標とすることとしました。

その結果、立地の優位性、学校施設用地としての適性、開発整備の実現性、事業費等の面から検討を行い、建設候補地を総合体育館周辺に決定しました。

また、篠島地区においては、令和5年7月から令和7年10月にかけて、保護者意見交換会と住民説明会、及びアンケート調査を実施し、保護者、住民の皆さんからご意見をお聴きしました。その結果、篠島中を南知多中に統合することについて、保護者の理解が得られました。

これらのことにより、今回計画の改定を行うものです。

#### 【参考資料】（※町公式ホームページに掲載）

- ・南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画（令和3年1月27日）
- ・第7次南知多町総合計画（中期）（令和7年3月）
- ・南知多町教育大綱（南知多町教育振興基本計画）（令和7年4月）
- ・新南知多中学校建設に係る再検討について
- ・篠島地区学校再編に関わる保護者意見交換会について（全9回）
- ・篠島地区学校再編に関わる住民説明会について
- ・中学校再編のお知らせ（篠島中学校の南知多中学校への統合）
- ・南知多中学校新校舎建設予定地について

## 2 目指す学校教育と育てたい児童生徒像（「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」より 一部改め）

子どもたちが、これからの社会を生き抜き、よりよい未来を切り拓くために重要な「生きる力」を育むための目指す学校教育と育てたい児童生徒像を次のように考えています。

### 『郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、 心身ともに健康でたくましい児童生徒』

子どもたちが安心して学習できる環境の中で、学校・家庭・地域が連携して「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を基盤とした「生きる力」を学び、郷土に誇りをもてる児童生徒を育てる。さらに、成長とともに多くの人との出会いの中で視野を広げ、心身を鍛え、豊かな心と人間性を培い、社会の形成者としての資質を備えた人を育てる。

- 義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国や地域社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。  
このため、学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、学びあうことを通じて思考力や判断力、表現力、主体的に生きる態度などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。
- そうした教育を十分に行うためには、「一定の規模の児童生徒集団」が確保されていることや、経験年数や専門性など「バランスのとれた教職員集団」が配置されていることが望ましいことから、「一定の学校規模」を確保することが重要となります。
- 同時に、小中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域コミュニティの核としての性格を有し、防災や地域の交流の場等、様々な機能を併せもっています。また、学校教育は地域の未来の創り手である子どもたちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格を持っています。

### 3 <実施計画>の骨子

#### (1) 統合の時期と場所

##### 【第1段階】

令和5年4月に、旧内海中の校舎を活用して南知多中を開校する。

##### 【第2段階】

総合体育館周辺に新校舎を建設し、令和15年4月を目標に、南知多中を移設する。

#### (2) 統合対象校

- 第1段階で、内海中、豊浜中、師崎中、日間賀中を統合する。
- 篠島中については、令和9年度に統合する。

※ 新校舎の建設については、将来の生徒数に合わせて先を見据えて計画することにより、充実した教育環境を整備します。

### 4 中学校再編について

#### (1) 中学校再編委員会等の設置

篠島中学校の統合及び中学校新校舎への移転を円滑に進めるため、「中学校再編委員会」を設置します。また、統合に係る諸課題の細部について調査、検討するため中学校再編委員会の中に検討部会を設置します。検討部会は、その計画及び結果を中学校再編委員会へ報告します。

##### ○ 中学校再編に係る検討すべき事項

- ・ 生徒、教職員等の交流事業等、学校行事に関すること  
統合後の新たな学校生活を円滑に迎えらるよう、工夫して実施します。
- ・ 部活動に関すること  
休日部活動の地域展開を進めるとともに、統合前の段階から、学校や保護者等の理解が得られれば、合同で部活動を行ない、合同チームで大会に参加できる体制づくりなどを検討します。
- ・ 教育課程、校務分掌、学級編制、教室配置等、教務に関すること
- ・ 通学方法に関すること
- ・ 校則、制服、体操服等に関すること  
制服、体操服等について「移行期間」を設けることなどを検討します。
- ・ 式典行事の計画等に関すること（閉校式・開校式）
- ・ 移転計画に関すること（学校の歴史等の継承、備品確認等）

- ・PTA 組織編成（規約・役員を選出等）に関すること
- ・学校行事への保護者の参加に関すること
- ・新校舎建設に関すること
- ・その他必要と考えられること

## （２）再編に向けての生徒に対するケア

統合に伴い、「集団にうまくなじめるか」、「新しい友達関係が築けるか」、「学校規模の違いに対応できるか」などの様々な不安を軽減し、新しい学校生活を円滑に迎えられるよう、関係校の教職員と協議していきます。

### （ア）再編前

- ・生徒の不安を軽減し、再編後の学校教育の充実を図るための篠島中学校から南知多中学校への教員の異動に配慮
- ・生活支援員の配置
- ・事前交流事業（合同授業、合同行事など）
- ・合同部活動の実施
- ・学校見学や保護者の事前協力活動
- ・再編に直面する児童・生徒、保護者の不安や疑問などの相談体制の強化

### （イ）再編後

- ・生徒や保護者の意見を聴くことができる体制づくり
- ・不安や悩みを抱える生徒との相談などの対応を行うスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置など
- ・特別支援学級生徒など支援を要する生徒のケア
- ・統合時の特別な配置（クラス編成、座席配置等の工夫）

## （３）統合後・中学校新校舎移転後の通学

- ・徒歩通学、自転車通学、路線バス、スクールバスの通学範囲  
基本的には、通学方法の目安として自宅から中学校までの距離が 1.5 km 未満の生徒は徒歩、1.5 km 以上 6 km 以内は自転車通学または路線バス、6 km を超える生徒はスクールバスまたは路線バスを利用します。詳細は今後再編委員会等で協議します。
- ・スクールバスに遅れた時や自転車通学生が雨天の時にバス通学ができるようにするとともに、休日の部活動時に活用できるように海っ子バスの利用を検討していきます。
- ・中学校新校舎移転後のスクールバスの運行方法やルート等については、保護者及び学校を交えての話し合いを行い、再編委員会等で検討を行います。
- ・路線バスについては、利便性が増すよう公共交通部局と調整していきます。
- ・両島生徒の朝の通学はチャーター便を運航します。町から通学定期券を交付し、

帰宅時、遅刻・早退時等は、定期船を利用します。

- ・生徒の体調不良等による早退等については、保護者の方に連絡し、基本的には迎えに来ていただくこととなります。ただし、両島生徒が早退する場合、症状が軽い場合などは学校職員等が公用車にて師崎港まで送ることもあります。

#### (4) 具体的な通学方法（経路など、より具体的な内容は再編委員会等で協議します）

##### ○ 第2段階：南知多中学校新校舎（総合体育館周辺）までの通学方法

- ・内海・山海地区（R15 62人 マイクロバス最大4台）

スクールバスまたは路線バス（片道15～25分）

- ・豊浜・豊丘地区

徒歩、一部は自転車又は路線バス

- ・大井・片名・師崎地区（R15 34人 マイクロバス最大2台）

スクールバスまたは路線バス（片道15～20分）

- ・篠島地区（R15 22人）、日間賀島地区（R15 18人）

業者委託大型バス1台

高速船（チャーター便及び定期便を予定）・スクールバスまたは路線バス

（片道25～35分） 篠島－師崎港、日間賀島東西港－師崎港

※下校時は、スクールバスと路線バスの併用を検討します。下校時の予定人数でバスの台数、部活動のあるなしなどで便数を決めます。一斉下校の場合は、登校時と同じ形を想定しています。

※両島生徒の下校時は、定期船の利用、チャーター便での対応などについて名鉄海上観光船と協議していきます。

※休日の部活動などは、路線バス、定期船の利用を基本と考えています。

#### (5) 防災・安全対策

万一、地震による津波が発生した場合は、現校舎においては校舎の上部階への垂直避難により安全性は確保されますが、避難場所や避難経路の設定には十分配慮し、日頃から地震・津波対策などの安全教育を実施します。

また、交通事故防止や不審者対策も含め、生徒が安心して生活できるよう、学校、警察、道路管理者等による合同点検を実施し、通学路の安全確保に努めます。

地域防災に関して、学校施設は災害時の避難場所及び避難所等に指定されており、町地域防災計画における避難計画などとの整合性を図っていくとともに、生徒の安全を第一に学校防災マニュアルを整備しています。

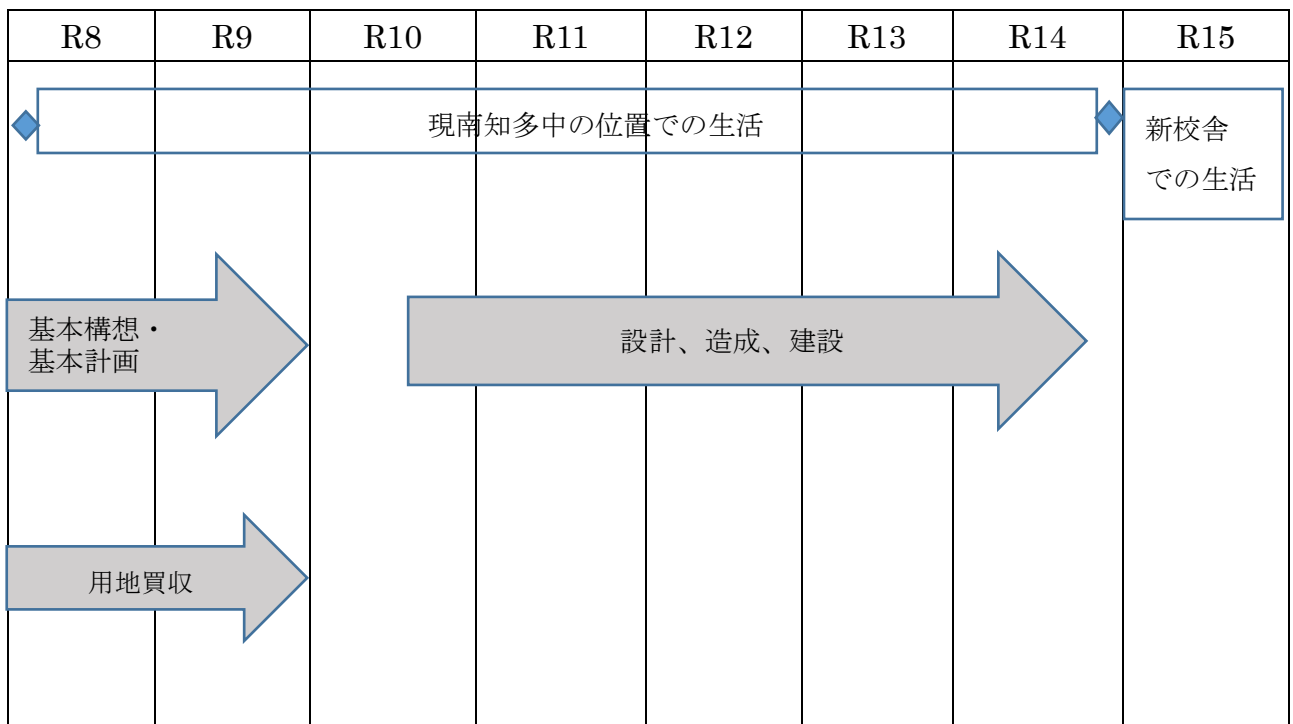
##### 【両島生徒の災害時の対応】

- ・定期船等が欠航のときは、タブレット端末を使ったオンライン授業を家庭で受

- けられるようにしています。
- ・登校後に災害発生の場合は生徒の安全確保を最優先し、宿泊対応も含めて対応します。

## 5 新校舎の建設について

実施計画の骨子で「総合体育館周辺に新校舎を建設し、令和15年4月を目標に、南知多中学校を移設する」としてありますが、その内容としては、基本構想・基本計画に令和8年度から令和9年度、設計、敷地造成、新校舎建設に令和10年度から令和14年度までと考えています。



## 6 公共施設の再配置に向けた取組みの推進

町内の公共施設については、多くの施設の老朽化が進み、修繕や建替えの必要性が生じています。また、人口減少が続き、昭和40年代前半には本町の人口は2万8千人台であったものが令和8年には1万5千人程度となっています。

多くの公共施設は、人口の多かった日本の高度成長期に建設されており、人口規模などに見合った規模や、配置について再検討することが求められています。また、持続可能な行財政運営の観点からも取り組まなければならない重要な課題となっています。

このことから、令和6年3月に南知多町公共施設再配置計画を策定しました。

学校施設についても、今後、学校統合が進んだ場合には、閉校となる学校施設の有効活用等について、維持管理費の縮減と合わせて検討を進めていく必要があります。

閉校となった場合、1年程度は物品や資料などの整理期間が必要ですが、その後は、公共施設再配置計画の中で、地域の皆さまのご意見を伺いながら、複合施設化による施設の集約や民間活用も含めた跡地利用に取り組んでいきます。



**【これまでの経緯】**（小中学校の適正規模・適正配置への動き）

- 平成 18 年 2 月 「中学校は全校を統合して1校を設立（設置）。小学校は各地区に1校ずつ設立（設置）して5校とする」とした「学校統廃合の基本構想」を策定
- 平成 20 年 4 月 豊浜地区の豊丘小学校を豊浜小学校に統合
- 平成 21 年 4 月 内海地区の山海小学校を内海小学校に統合
- 平成 23 年 11 月 内海小学校、豊浜小学校で学校統合を経験された子の保護者を対象にアンケートを実施（学校統合の検証）

**【これまでの経緯】** 前ページからつづき

- 平成 31 年 3 月 「学校規模の適正化に関する基本的な考え方」を策定
- 令和元年 7 月 学校規模適正化について、保護者を対象にアンケートを実施
- 令和元年 8 月 学校規模適正化について、教職員を対象にアンケートを実施
- 令和元年 10 月～11 月 地域住民を対象に意見交換会（5地区）を開催
- 令和 2 年 2 月～3 月 大井小、師崎小、篠島小中、日間賀島小中それぞれの PTA 役員を対象に意見交換会を開催
- 令和 2 年 6 月～9 月 南知多町立小中学校規模適正化懇談会（全5回）を開催
- 令和 2 年 7 月 児童生徒アンケート「これからの南知多町の小中学校を考える調査」を実施
- 令和 2 年 9 月～10 月 保護者を対象に意見交換会（5地区）を開催
- 令和 2 年 11 月 住民説明会開催
- 令和 2 年 11 月 基本計画（案）のパブリックコメント実施
- 令和 2 年 12 月 師崎地区保護者意見交換会開催

令和3年1月	師崎地区住民説明会開催
令和3年1月	「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」 (令和3年1月27日策定)
令和3年3月	大井小学校と師崎小学校を統合し、統合校を令和4年4月に開校することを決定
令和3年4月	「南知多町教育大綱(南知多町教育振興基本計画)」を策定
令和3年7月	具体的な実施方法を提示した町の<原案>について何う保護者アンケート「南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査」を実施
令和3年8月	「南知多町立中学校再編実施計画(素案)」を作成
令和3年9月	保護者を対象に意見交換会(5地区)を開催
令和3年9月	大井・師崎小学校の統合校の校名を「みさき小学校」に決定
令和3年10月	「南知多町立中学校再編実施計画(案)」を作成、総合教育会議で了承
令和3年10月	7日～21日「南知多町立中学校再編実施計画(案)」についてパブリックコメントを募集
令和3年10月	住民説明会開催
令和3年10月	「南知多町立中学校再編実施計画」を総合教育会議において決定
令和3年12月	内海中、豊浜中、師崎中、日間賀中を統合し、統合校を令和5年4月に開校することを決定(町議会)
令和4年1月	中学校再編委員会(R4.1～R5.1まで8回開催) 生徒準備委員会(R4.1～R5.2まで7回開催)
令和4年3月	大井小、師崎小閉校式
令和4年4月	南知多町立みさき小学校開校記念式典(5中5小に)
令和4年6月	4中学校交流会(R5.3まで4回、オンライン交流2回実施) 統合校の校名を「南知多町立南知多中学校」に決定(町議会)
令和4年7月	4中学校合同部活動開始(R5.3まで継続)
令和4年10月	保護者説明会(各4地区にて開催)
令和4年11月	5小学校交流会、みさき小保護者アンケート「学校統合後の児童の様子」
令和5年1月	4中学校在校生保護者説明会
令和5年2月	南知多中学校入学説明会
令和5年3月	4中学校閉校記念式典(各中学校にて開催)
令和5年4月	南知多町立南知多中学校開校記念式典(2中5小に)
令和5年7月	篠島地区学校再編に関わる保護者意見交換会開催
令和6年度	篠島地区学校再編に関わる保護者意見交換会開催(3回)
令和7年度	篠島地区学校再編に関わる保護者意見交換会開催(5回)

令和7年5～6月 篠島地区中学校再編（統合）についてのアンケート調査実施  
令和7年7月 篠島地区学校再編に関わる住民説明会開催  
令和7年9～10月 篠島地区中学校再編（統合時期）についてのアンケート調査  
実施  
令和7年12月 篠島中学校の南知多中学校への統合を決定（町議会）  
令和8年3月 南知多中学校新校舎建設候補地が総合体育館周辺に決定

※ 町公式ホームページで資料などを掲載しています。